

# 株式会社ミュージックバード

## 第76回番組審議会 議事録

1. 開催日時 平成 30 年 10 月 2 日(火) 16 時 00 分～17 時 30 分
2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室
3. 出席者  
＜番組審議会委員＞  
矢内 廣 委員長  
松尾 修吾 副委員長  
福本 ゆみ 委員  
中西 健夫 委員  
  
欠席  
村井 裕弥 委員  
佐野 光徳 委員  
  
＜ミュージックバード＞  
代表取締役社長 雄谷 英一  
常務取締役 大橋 明夫  
取締役技師長 土屋 充央  
コンテンツ事業部部長代理 岩崎 育郎  
コンテンツ事業部 篠崎 めぐみ  
THE CLASSIC プロデューサー 清水 葉子
4. 議事内容  
(1)放送活動のご報告  
(2)番組試聴  
(3)今後の施策について
5. 配布資料  
(1)第76回番組審議会資料  
(2)第75回番組審議会議事録  
(3)Song List ハイライト記事(6月～9月)

## (1) 主な放送活動の報告

### ◇新番組(9月～)

・123ch THE 青春歌謡「GS天国」

放送日時: 月～日 13:00～15:00.

放送内容: ザ・タイガース、ザ・スパイダーズ、ザ・ジャガーズ、

ザ・テンプターズ、ザ・ゴールデン・カップス・・・

時代を夢中にさせたグループ・サウンズの名曲が

屋下がりの午後に蘇る！永遠の青春ヒットチューンを満載にして送るノンストップ・ミュージックゾーン。

◇MB 契約者からのグループサウンズのニーズが多く寄せられていたことから、編成した。

### ◇新出演者(9月～)

・121ch THE CLASSIC「WORLD LIVE SELECTION」

放送日時: 日曜 16:00～18:00(再放送土曜 16:00～18:00)

出 演: 奥田佳道

<プロフィール> 1962年東京生まれ。ヴァイオリンを学ぶ。ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーン大学に留学。

くらしき作陽大学講師、エリザベト音楽大学パフォーマンス・フォーラム講師を務めた。「音楽の

友」「N響フィルハーモニー」などへの執筆のほか、1997年から2017年まで毎年NHK BS「ウィーン・フィルニューイヤーコンサート」生中継の解説を担当。著書・監修に「これがヴァイオリンの銘器だ」(音楽之友社)、「知ってるようで知らないバイオリンおもしろ雑学事典」(ヤマハ・ミュージックメディア)ほか。

◇MB 昨年1年間ウィーンを特集した番組に起用していた奥田氏にウィーンのクラシックシーンの情報を交えて解説をしていただくために新出演者として本番組にレギュラー起用した。

## (2) 番組試聴

番組名:『ウィークエンドスペシャル』～夏休み自由研究～平成音楽史

放送チャンネル: MUSIC BIRD 121ch 「THE CLASSIC」

放送日: 2018年8月19日(日) 20:00～24:00 《再放送(土) 12:00～16:00》

出 演: 山崎浩太郎、片山杜秀

司 会: 田中美登里

内 容: 1989年1月8日から始まった「平成」が、2019年4月30日で幕を閉じるにあたり、夏休み自由研究として約30年の「平成」を音楽とともに改めて振り返り、来るべき時代の到来を展望しました。出演はお馴染み演奏史譚の山崎浩太郎さんと、音楽評論、政治思想史研究の片山杜秀さん。ベルリンの壁の崩壊(平成2年6月13日)、阪神淡路大震災(平成7年1月17日)、オウム真理教地下鉄サリン事件(平成7年3月20日)、東日本大震災(平成23年3月11日)……。平成の時代を象徴する音楽とは一体何か？を探ります。

◇MB 山崎浩太郎、片山杜秀の二人は歴史に強く、理路整然とクラシック音楽の時代背景を解説するのにつけて考え、毎年年末恒例の特別番組として編成している。

◇委員 3大テノールの来日など、自分自身の平成の記憶や体験を思い出しながら楽しめる番組であった。

◇MB 日本ではソプラノ至上主義であったが3大テノールによってテノールが大きくクローズアップされるインパクトとなった。

◇委員 オペラで歌を聴くということが一般的ではなかったが大きなエポックとなった。高額チケットも一般化した。

◇委員 クラシックの番組は長時間のものが多いが好きな方にとっては全く問題ない。

◇MB 早口は気になりませんでしたか？

◇委員 特に問題ないと思う。3人の楽しそうな会話がよく世相を捉えている。クラシックと国際政治の分析もユニークであった。

◇委員 過激な話題に突っ走るところを田中美登里さんがうまく取りまとめている。

<片山杜秀(かたやまもりひで)>

1963(昭和38)年生まれ。思想史研究者、音楽評論家。慶応大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。慶応大学法学部教授。著書に『音盤考現学』『音楽博物誌』(吉田秀和賞、サントリー学芸賞)、『ゴジラと日の丸』『近代日本の右翼思想』『未完のファシズム』『国の死に方』など。

<山崎浩太郎(やまざきこうたろう)>

1963年東京生まれ。早稲田大学法学部卒。歴史物語として説く「演奏史譚」を専門とする。日本経済新聞の演奏会評、専門誌『レコード芸術』『音楽の友』『モーストリークラシック』等に寄稿。著書に『クラシック・ヒストリカル 108』『演奏史譚 1954/55クラシック音楽の黄金の日』(以上アルファベータ)、訳書にジョン・カルショー『ニーベルングの指環』『レコードはまっすぐに』(以上学習研究社)などがある。

## ◇その他の施策

### ・10月新番組

#### ①「TOKYO FM Studio IRIS ライブ」

THE AUDIO(124ch) 10月6日スタート 毎月第一土曜 16:00~(※翌週以降リピート)

THE JAZZ(122ch) 10月7日スタート 毎月第一日曜 18:00~(※翌週以降リピート)

~10月/野瀬栄進ソロ①~

TOKYO FM の多目的レコーディング・スタジオ「IRIS」で迫真のジャズ演奏をハイレゾ録音! ミュージックバードでしか聴けないオリジナル・コンテンツを毎月お送りします。

第1回目はNY在住のピアニスト、野瀬栄進によるソロ・ピアノ演奏(2018年4月8日録音)。3時間を超えるフリー・インプロビゼーションの中から、ミュージシャン自身が厳選した約55分の演奏をお届けします。

ピアノはニューヨーク・スタインウェイ、スタジオ・コンソールに導入時点で国内2台目となる Solid State Logic 社の System Tをはじめ、最新の機材を使用した96kHz/24bitのハイレゾ録音です。録音はプロ録音賞受賞エンジニア、川島修(TOKYO FM)が担当。

#### 【放送予定】

2018年10月・11月:野瀬栄進 Vol.1・Vol.2/12月:遠藤律子トリオ/2019年1月:武田愛+松尾明トリオ/  
2月:福井ともみトリオ/3月:福井ともみマウント・ノネット(9重奏)

#### ②「復刻 菅野沖彦のオーディオファイル」 THE AUDIO(124ch) 10月7日スタート(日)16:00~20:00

有料放送開始25周年記念~オーディオ評論家・菅野沖彦氏の名番組が蘇る

ミュージックバードでは今年12月に有料放送開始25周年を迎えることを記念し、過去の名番組の復刻プロジェクトを開始。その第一弾として、開局当初から2010年3月までクラシック、オーディオファンから高い評価を受けてきた「菅野沖彦のオーディオファイル」を10月より放送します。録音エンジニア・オーディオ評論家の菅野沖彦氏が、クラシックの優秀録音とは何か、雑誌『Stereo Sound』の「オーディオファイルのための音楽ガイド&エッセイ」で取り上げられた新譜を例に語ります。

#### 【菅野 沖彦(すがの・おきひこ) プロフィール】

オーディオ評論家。1932年東京に生まれる。朝日ソノラマを始めとする録音に携わる。その後、フリーの録音家として多くの名録音を手掛ける。その一つの成果が、オーディオファンに高い人気を博し、世界でも名声を獲得した「オーディオラボ」レーベルである。並行してオーディオ評論も手掛け、長年にわたりその道の第一人者として活動した。代表的な著書は「オーディオ羅針盤」、「新レコード演奏家論」など多数。

③「オリジナル盤レコードの世界」 THE AUDIO(124ch) 10月6日スタート

(土)10:00~11:00(※翌週リピート) 再放送=(土)21:00~22:00

再発盤や復刻盤に比べて音が良く、コレクターの間でも人気の高い、オリジナル盤(発売当初にプレスされた盤)のレコードに焦点を当てる番組。パーソナリティは、世界最大級のジャズ専門館『diskunion JazzTOKYO』の店長・生島昇。「オーディオの機材ではなく音源であるレコードを主役に抜擢して、プレスの違いや様々な鳴らし方のテクニックによる違いを実験。時にはレコード盤による違いが機材の違いよりもはるかに支配力があり、オーディオの楽しみを深く豊かにしてくれることをリスナーの皆様と一緒に体験できたらと思っています。」(生島)

10月6日/BILL EVANS TRIO / Waltz For Debby

記念すべき第1回はアコースティック・リバイブ社長の石黒謙氏をゲストにお迎えし、ジャズピアノの歴史的な名盤「ワルツ・フォー・デビー」を鳴らします。モノラルのオリジナル盤2種(青ラベル/白プロモラベル)の比較、ステレオのオリジナル盤と高品位復刻盤の比較、さらにはこの盤に特有の「音揺れ」現象の謎についても検証します。そして、イコライザー・カーブ(RIAA/AES/NAB)の検証、さらにMCトランスの厳密なインピーダンス・マッチングに拘ったARAIラボの超弩級トランスの試聴も行います。[再放送=13日]

10月20日/MILES DAVIS / Kind Of Blue

第2回はモダンジャズの名盤「カインド・オブ・ブルー」をお題に、今回もアコースティック・リバイブの石黒氏に出演をお願いしました。数万枚のコレクションを持つレコード・コレクターとしても有名な石黒氏は、例によってレアな白プロモ盤や、ニンバスのスーパーカット盤を聴かせてくれます。さらに、アコリバ製リードワイヤーやフォノケーブルを使用してオリジナル盤が持つ驚きのサウンドが引き出されていく過程をお伝えします。[再放送=27日]

11月3日/MGM カーブのジャズ・レコードを聴く

フォノイコライザーにM2TECHのJOPLIN2を使用し、ジャズのオリジナル盤を使ってEQカーブのマッチングを探ります。今回は、MGMカーブを持つと思われるIMPULSEレーベルとVERVEレーベルから、ジョン・コルトレン、オリバー・ネルソン、スタン・ゲッツ、オスカー・ピーターソンの代表的なアルバムをオリジナル盤で検証していきます。ゲストは再びアコースティック・リバイブ社長の石黒謙氏をお招きして、EQカーブを合わせたレコードをさらに本格的に鳴らすテクニックを実演していただきました。お楽しみに！[再放送=10日]

11月17日/NAB カーブのロック/ソウル・レコードを聴く

第4回では、ロック/ソウルのオリジナル盤を年代順に鳴らしながら、どのあたりからRIAAカーブに統一されるのかを比較試聴でじっくり検証していきます。その結果は驚くべきものでした！今回もアコースティック・リバイブの石黒氏に貴重なコレクションを持ちこんでいただき、フォノイコライザーJOPLIN2を使って聴き進めます。石黒氏によるレコード再生の秘密テクニック実演もあり、その効果によって鳴り出したオリジナル盤は思わず絶句してしまうような迫真のサウンドでした。[再放送=24日]

◇委員 実際に1stプレスのレコードは音は違うのか？

◇MB 実際に音は違います。レコードコレクターの間では高値で取引されています。

◇委員 アナログレコードについては、中国からもディスクユニオンに多数買いに来ている。

◇MB 若い人でもCDを聴くのは違い、ターンテーブルをリアルに回すことの満足度も相当高い。  
アナログレコードの勢いは暫く続くと考えている。

<その他>

◇委員 シネマコンサートも人気となっており、リアルな体感という共通するメリットがあるように思う。  
MBとして連動を検討しては如何か？